

成長戦略



東日本大震災で津波の被害にあつた復興に取り組み(岩手県大船渡市)

日本に足かせ 五つの課題

経済産業省 産業構造審議会 産業競争力部会中間取りまとめ		
空洞化対策		
サプライチェーンの強靱化	立地競争力の強化	
分散化・複線化	法人実効税率引き下げの重要性	
産業再編・事業統合	成長分野の国内立地支援	
複数サプライヤーによる災害代替供給	経済連携の推進と、食と農林漁業の再生	
仕様・部品の整理・共通化、標準化、素材仕様の柔軟化	規制制度改革など	
事業共同化計画など	アジア拠点化強化	
経営財務基盤の強化		
成長力の創出・強化		
海外市場開拓	新たなビジネスの育成	人材力・技術力の強化
インフラ・システム輸出	IT融合によるシステムづくり	人材育成
クール・ジャパン戦略の強化	ライフ・イノベーションの加速	研究開発
新興国市場等への戦略的取り組み	起業・創業	
国際知財戦略の推進		
中小企業の海外展開の強化(経済産業省資料)		

負のスパイラル 国内産業の喫緊の課題は産業空洞化対策だ。東日本大震災で東北地域を中心にサプライチェーンが揺らぎ、部品を調達していた日系や海外メーカーの国内外生産が一時的に停止した。これに原産事故による電力需給ひっ迫や超円高による輸出競争力低下が重なり、国内産業は「負のスパイラル」に陥っている。政府は、この「負のスパイラル」を止めなければ日本産業に未来はない。経済産業省は6月、産業構造審議会の産業競争力部会で、大震災後の我が国の産業競争力に関する課題を整理し、対応策をまとめた。

円高阻止こそ至上命題

負のスパイラル 国内産業の喫緊の課題は産業空洞化対策だ。東日本大震災で東北地域を中心にサプライチェーンが揺らぎ、部品を調達していた日系や海外メーカーの国内外生産が一時的に停止した。これに原産事故による電力需給ひっ迫や超円高による輸出競争力低下が重なり、国内産業は「負のスパイラル」に陥っている。政府は、この「負のスパイラル」を止めなければ日本産業に未来はない。経済産業省は6月、産業構造審議会の産業競争力部会で、大震災後の我が国の産業競争力に関する課題を整理し、対応策をまとめた。



日本の産業は超円高や膨らむ財政赤字、東日本大震災などを背景に抜本的な構造転換を迫られている。枝野幸男経済産業相は日本産業の未来について「経済大国となった日本の国際競争力の柱が価格では話にならない」と従来型ビジネスモデルからの脱却を唱え、「コスト競争力に高付加価値を加えた新たなジャパンモデル」創出を目指す。日本の強みである中小企業のモノづくり基盤を生かしながら、成長する海外市場をいかに取り込むか。その道筋を見極める模索が始まっている。

「課題と対応」と題した中間取りまとめを公表した。大震災により政府が2010年6月に策定した「新成長戦略」の見直しを決めたことを受け、今後の産業政策の方向性を示したものだ。産業構造審議会の中間まとめで、大震災により日本は五つの課題を抱えていると分析。第1に震災で企業の生産設備や、産業インフラが打撃を受け足元の成長期待が低下。第2に東京電力福島第一原発事故の影響で電力需給がひっ迫し、火力代替などにより中長期で発電コストが上昇するとの懸念。第3に震災や計画停電でサプライチェーンが一時的にまひし、製造業の「ぜい弱性」が顕在化。第4に原発事故で放射線被害が食料品や工業製品に及ぶとの風評被害が拡大し日本製品の信頼性が低下。第5にこれらの課題が重なり空洞化が深刻化するとの指摘だ。

中でも円高に對抗できる国内立地競争力を高め、空洞化を阻止することが急務。野田佳彦首相は9月19日に横浜市の日産自動車横浜工場を視察した際、カルロス・ゴーン日産社長より「円高を何とかしてほしい」と要請された。日産は国内販売する主力小型車「マーチ」の海外生産移転に踏み切るなど、円高環境下で思い切った判断を下している。中小企業のサプライチェーンが広く地域雇用を支える、車生産が海外流出するインバクト

む方針。中長期では企業再編や事業統合、生産提携などを誘導し経営基盤を強化しながら国内生産のメリットを引き出す考え。国内にモノづくり基盤を置く企業にとって、大震災や円高の危機をチャンスに変えるには、従来のビジネスモデルの枠組みを大きく踏み越える強い決意が求められる。

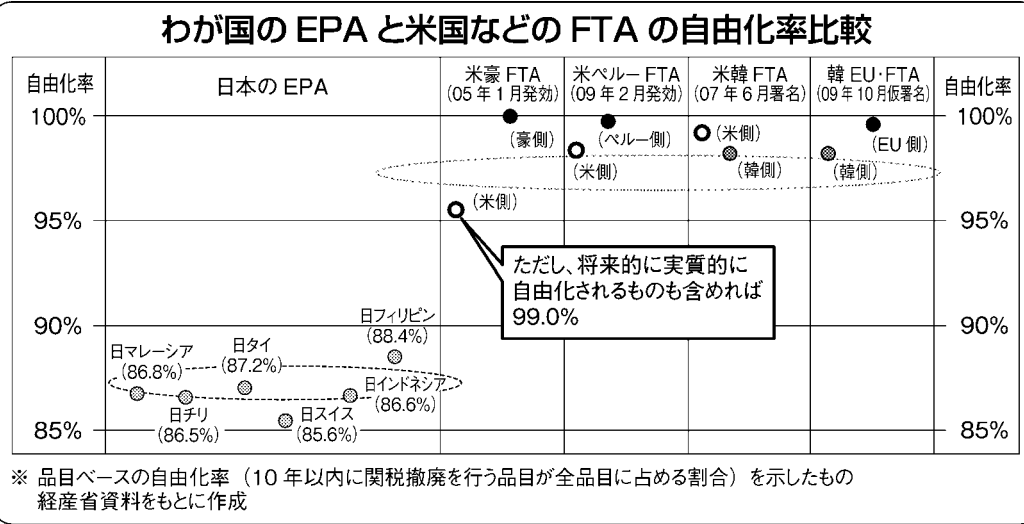
「国論が二分されている」と発言している。枝野幸男経済産業相は「農業政策やその他の施策がしつかり推進されれば、TPPは前向きな結論になる余地が十分にある」と発言している。

維持しつつ、今は円高で厳しくても成長を続ける海外の市場は確実に取り込んでいかなければならないというのだ。一方、円高はやはり経営を圧迫する。円高状況で利益を上げるには価格競争力がある。国内製造業で価格競争力の軸になるのは、他国の追随を許さない高い技術力だ。「日本のこのメーカーにしか作れない」というような製品であれば、値切られることも少なく、メーカーにとって優位な取引も可能になる。

助成実績100件 こうした技術力向上のための支援は戦略的基盤技術高度化支援事業(サポーター・インテグレーション・事業)などがある。2006年度以降、経済産業省は中小企業がかかわる約1000の技術開発に補助金を支給して支援してきた。

行政による支援制度のうち、サポイン事業などは認知度も上がり利用も増えているが、まだまだ知られていない制度も多い。中小企業への周知を徹底し、より多くの企業が活用することで、現下の困難を乗り切ることが期待されている。

脱価格競争「ジャパンモデル」創出



他国の追随許さぬ技術力育成 行政の支援 周知徹底を

日本はこれまで「国間のEPAやFTAを積極的に結んできた。だが品目ベースの自由化率は、おおむね90%未満のものが多い。一方で米国が豪州や韓国、ペルーと結んだFTAは、自由化率が95%以上で、TPP交渉に参入するに十分な水準にある。国内市場が縮小していく日本にとって、総論として経済連携の重要性が増す方向にあるのは間違いない。その一方で、主に農産品の日本市場に関心が高い米国と、日本との間に関税の不均衡が厳然と存在するEUは、日本の本気度を試しながら、自らの利益を計算している。

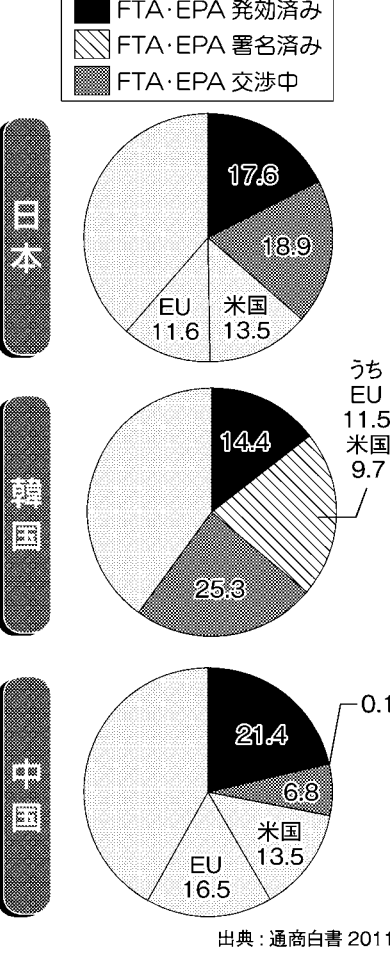
鹿野農水相も枝野経産相も重要課題として「国民の合意形成」を掲げている。しかし合意形成のために行つ議論や検討、意見集約の場を震災後の現在にどう設定するか、またそのための基礎資料は、まだ示していない。「カレンダー」を横目で見ながら、しかし拙速にはできない(枝野経産相)重要案件が日本全体にのしかかっている。

維持しつつ、今は円高で厳しくても成長を続ける海外の市場は確実に取り込んでいかなければならないというのだ。一方、円高はやはり経営を圧迫する。円高状況で利益を上げるには価格競争力がある。国内製造業で価格競争力の軸になるのは、他国の追随を許さない高い技術力だ。「日本のこのメーカーにしか作れない」というような製品であれば、値切られることも少なく、メーカーにとって優位な取引も可能になる。

助成実績100件 こうした技術力向上のための支援は戦略的基盤技術高度化支援事業(サポーター・インテグレーション・事業)などがある。2006年度以降、経済産業省は中小企業がかかわる約1000の技術開発に補助金を支給して支援してきた。

行政による支援制度のうち、サポイン事業などは認知度も上がり利用も増えているが、まだまだ知られていない制度も多い。中小企業への周知を徹底し、より多くの企業が活用することで、現下の困難を乗り切ることが期待されている。

貿易額に占める FTA・EPA 対象国の比率



国民の合意形成必須

国論二分TPP・EPA交渉 枝野幸男経済産業相は「農業政策やその他の施策がしつかり推進されれば、TPPは前向きな結論になる余地が十分にある」と発言している。

維持しつつ、今は円高で厳しくても成長を続ける海外の市場は確実に取り込んでいかなければならないというのだ。一方、円高はやはり経営を圧迫する。円高状況で利益を上げるには価格競争力がある。国内製造業で価格競争力の軸になるのは、他国の追随を許さない高い技術力だ。「日本のこのメーカーにしか作れない」というような製品であれば、値切られることも少なく、メーカーにとって優位な取引も可能になる。

助成実績100件 こうした技術力向上のための支援は戦略的基盤技術高度化支援事業(サポーター・インテグレーション・事業)などがある。2006年度以降、経済産業省は中小企業がかかわる約1000の技術開発に補助金を支給して支援してきた。

行政による支援制度のうち、サポイン事業などは認知度も上がり利用も増えているが、まだまだ知られていない制度も多い。中小企業への周知を徹底し、より多くの企業が活用することで、現下の困難を乗り切ることが期待されている。

維持しつつ、今は円高で厳しくても成長を続ける海外の市場は確実に取り込んでいかなければならないというのだ。一方、円高はやはり経営を圧迫する。円高状況で利益を上げるには価格競争力がある。国内製造業で価格競争力の軸になるのは、他国の追随を許さない高い技術力だ。「日本のこのメーカーにしか作れない」というような製品であれば、値切られることも少なく、メーカーにとって優位な取引も可能になる。

助成実績100件 こうした技術力向上のための支援は戦略的基盤技術高度化支援事業(サポーター・インテグレーション・事業)などがある。2006年度以降、経済産業省は中小企業がかかわる約1000の技術開発に補助金を支給して支援してきた。

Life in & Lifelong Partnership  
文化シャッターはお客様に安心・安全を提供する「快適環境のソリューショングループ」を目指します。

キミとこのシャッター、メッチャ、高気密設計らしいなあ〜。

躯体部とレール部を密着させることで、ガイドレール部からの空気の洩れを防ぎ、気密性を高めています。

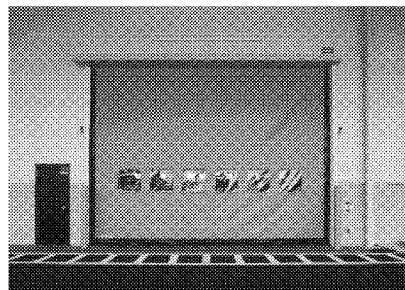
■気密性能データ(ケース無の場合)  
【圧力差9.8(Pa)時の通気量】

タイプ	通気量q(m³/h・m)	
	正圧	負圧
M2-M3	47.40	46.54
	89.96	72.19
MINI-C	89.96	72.19
	72.19	47.40

文化シャッターのエア・キーパー「大間迅」は、工場をはじめ物流や商業施設など、さまざまな空間の開閉口に設置して施設内環境を保持します。通常シャッターの10倍以上のハイスピード開閉機能(当社比)や空気の漏れを最小限に抑える高気密設計などにより、施設内環境を良好に保って作業効率を高めることはもちろん、空調を保持する省エネ効果によりCO2の削減にも役立つ先進の高速シートシャッターです。

そやねん。コストも安くCO2もぎょーさん出さん。省エネ効果で地球に優しいねん。

高速開閉および高気密設計のため、空気の流出量が最小限に抑えられ、省エネ効果につながります。



高速シートシャッター  
エア・キーパー  
大間迅  
ダイヤモンド  
マジックM2-M3  
クラッシュCL  
ミニ

- ・センサーによる多彩な制御方式
- ・高速開閉・気密構造で空調・防塵効果
- ・防虫シートで衛生・品質管理
- ・最大開口10mの広さに対応

文化シャッター株式会社  
〒113-8535 東京都文京区西片1丁目17-3 TEL.03-5844-7111 ホームページ <http://www.bunka-s.co.jp/>